

## 令和4年度 小平市立小平第一中学校 学校評価報告書

<b>学校教育目標</b>	人権尊重の精神を基調とし、豊かで健康な心を持ち、主体的に生き、社会に貢献できる人間の育成を目指し、次の目標をかかげる。 「自主」自ら考え、自ら学ぶ人      「協力」互いに思いやり、力を合わせる人      「健康」心と体を鍛え、たくましく生きる人
---------------	--

<b>目指す学校像(ビジョン)</b>	
【目指す学校像】	・生徒が毎日楽しく通って自分の力を伸ばすことができる    ・教職員が働く喜びと誇りを持てる    ・保護者が安心・信頼をもち子どもを通わせられる    ・地域が学校と力を合わせ子どもたちを育てる実
【目指す児童・生徒像】	・深く学び深く考え、よりよい生き方に向け主体的に努力する    ・自分や人のよさを認めると共に、正しいことは臆せず正しいといえる    ・基本的な生活習慣が身に付いた、心身共に健康な生徒
【目指す教員像】	・よりよい教育活動について考え行動できる    ・生徒一人一人を心から慈しみ、それぞれのよさを認め伸ばす    ・地域保護者と力を合わせ教育活動に取り組む教職員

**前年度までの学校経営上の成果と課題**  
 ・新学習指導要領の全面実施に向けた取組は大きな混乱もなく、適正な評価につながる対応ができていた。学校図書館の積極的な利用、学習者用端末の活用などの工夫も進んだ。  
 ・令和5年度のCS化に向けて、準備委員会の取組を始める。一部教員の勤務時間の長さについて改善を進める必要がある。

	具体的方策	第1回評価		成果・課題・対策	第2回評価		学校関係者評価	成果・課題・次年度以降の対策
		取組指標	成果指標		取組指標	成果指標		
学力向上	主体的に学習する場面の設定、家庭学習支援などの学習意欲の向上をねらいとした指導の実施	2	3	・学年ごとにそれぞれの段階に合わせ、家庭学習の定着に係る取組を進めた。	3	4	・学力について固定的に捉えるのではなく、社会の在り方にも意識をしながらしっかり捉えなおし、改善を進めてほしい。「探究学習」の展開に期待する。	・探究学習についての研究、実践を通して、生徒の学習意欲の向上に活かせる方法を考え、展開していく。
	学習者用端末の効果的な活用する方法を研究し、実際に指導の場面で使用する。	3	3	・すべての教科で何らかの学習者用端末を活用した授業が実施された	4	4		・活用の仕方について成果が上がった方法について校内で共有していく。探究学習への学習者用端末の活用のありかについての研究をする。
健全育成(いじめ防止)	生徒の人権意識を高め、差別意識をなくすと共に自尊感情を高める指導を進める。	3	2	・継続的ないじめ案件は発生していないが、単発の事例が何件もあり、その都度指導し、解決を進めた。道徳科の授業等の日常的な指導を継続したい。	4	2	・いじめについては未然防止はもちろんのこと、早期発見、早期解決に努めてほしい。情緒面での課題のある生徒への指導を期待する。	・年間指導の学年ごとの指導はもちろん、学年間の連携も図りながら、生徒の自尊感情を育む指導を展開できるよう、計画的に進める。
	コミュニケーション面で課題があったり、人間関係に困り感のある生徒について把握し、特別支援教室との連携の下支援を進める。	3	2	校内委員会の週ごとの開催が定着し、支援の必要な生徒に係る情報共有は進んだ。	4	3		・校内委員会で確認された指導上配慮が必要な生徒に係る情報共有の徹底と共に、具体的な配慮の方法についても共通理解を図り、徹底できるようにする。
特色ある学校づくり	生徒の読書量の向上を図る。	4	3	・読書の推進に係る様々な活動が進んだ。全般的に読書量は確保できているが、平均自体は一部の生徒によって伸びている現実もある。	4	3	・読書を特色として取り組んでいることが定着してきていると思う。いっそうの充実を図ってほしい。	・学校図書館の活用のいっそうの活性化を図るため、選書の工夫を進めると共に、3年間にわたる読書推進計画の見直しと、実施を進める。
	学校図書館、公立図書館を活用した授業を進める。	2	3	・学校図書館や公立図書館を活用した授業自体は実施できたが、件数や教科による広がりにはまだ課題がある。	3	4		・総合的な学習の時間を活用した「探究学習」に係る技能の中に図書館の活用を位置付け、確実に指導を行うようにする。
地域連携	コミュニティスクール化に向けた3か年の計画を作成し、取組を進める。	4	4	・5年度からの実施に向けた準備委員会が発足し、積極的な活動が進められた。	4	4	・学校運営協議会として教育課程編成に参画する経験は貴重なものであった。さらに確実な方法として定着を図ってほしい。	・引き続き、Googleチャットを活用した日常的な意見交換を進めると共に、学校運営協議会の教育課程編成へのかかわり方をより確実なものとする
	準備委員会の「四つの課題」への取組を進める。	4	4	・各課題に対し具体的な取組(読書推進アプリの作成、避難所準備委員会の開催等)が進められた。	4	4		・4課題にかかわる具体的な取組をさらに進め、課題の解決につなげる。
業務改善・働き方改革	タブレット端末の活用などの業務改善を進める。	3	3	・採点ソフトの活用などによって時間の短縮が進んだ。	3	4	・学校の教育活動を進めるのは先生たちであるので、心身の健康に留意され、力を発揮できるようにしてほしい。	・業務の改善については端末の活用はもとより、様々な角度からも検討を加え、より効率的な業務となるよう、引きつづき改善を図る。
	職員の時間外勤務の実態把握を行い、減少させるよう取組を進める。	2	3	・学校全体の時間外勤務は確実に減少しており、今後も時間外勤務の縮減を進める。一部職員の時間外勤務が長い状況はある。	2	3		・時間外勤務が長くなってしまいがちな職員とは定期的な面談等を通し、意識改革を進めることで縮減を図る。